

えりもしやくなげ



発行者 教育長 川上松美 (代)01466-2-2525
<http://www.town.erimo.lg.jp/section/kyouiku/sg6h94000000pqh.html>

愛媛県大洲市へ、みんなで応援メッセージ

○えりもの小学生、中学生、高校生が応援メッセージを作成しました。

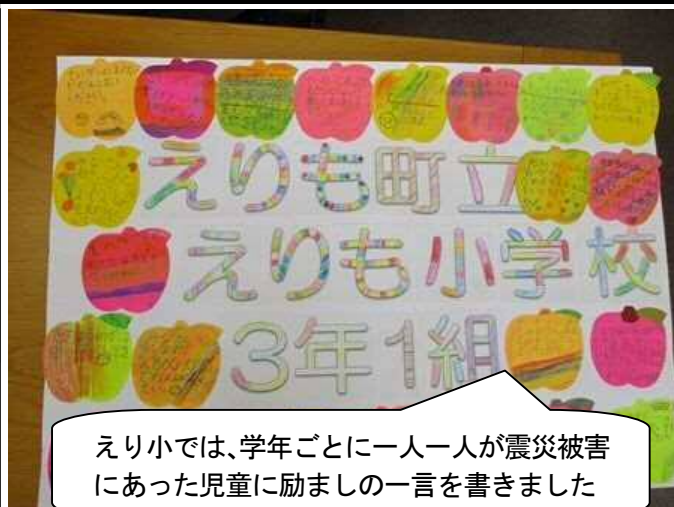
○教育委員会では、早速、大洲市教育委員会にメッセージを送り、大洲市の児童生徒のみなさんに、当町の児童と生徒の励ましの声を届けました。



笛小では、低・中・高学年に分かれて、願いの垂れ幕を作成しました

—メッセージ—

垂れ幕には、「1・2年生～まけるな、3・4年生～がんばろう、5・6年生～大洲市の皆さん、がんばれ」と書きました（笛舞小）



えり小では、学年ごとに一人一人が震災被害にあった児童に励ましの一語を書きました

—メッセージ—

生活がたいへんでつらいと思いますが、がんばってください（えりも小3年生）



東洋小では、11名一人一人が励ましの思いを書き上げました

—メッセージ—

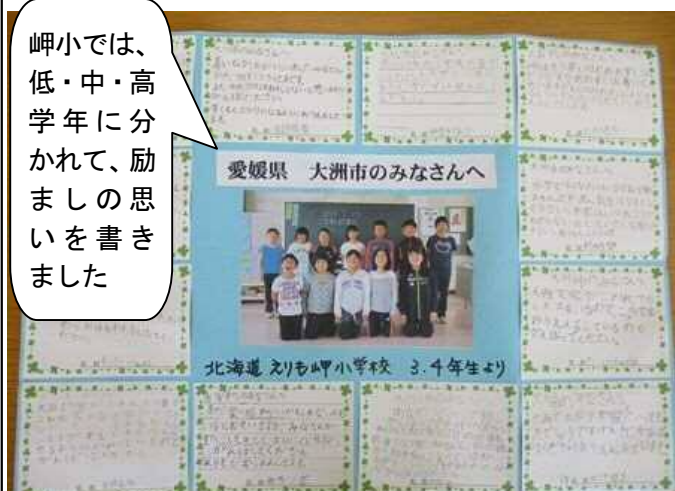
家のドロを取りのぞいたり、元の生活に戻れなかったりするなど、辛いことがあるかもしれませんが、北海道から大洲市の人達が幸せな生活に戻れるように祈っています。がんばってください（東洋小 かんた れみ）



庶小では、1年から6年生が縦割り班になって、短冊を作りました

—短冊—

うつむかず前を向いてがんばってください
（庶野小 工藤大悟、氷見真嗣、田中咲翔、安田永遠、こまつそうた）



岬小では、低・中・高学年に分かれて、励ましの思いを書きました

—メッセージ—

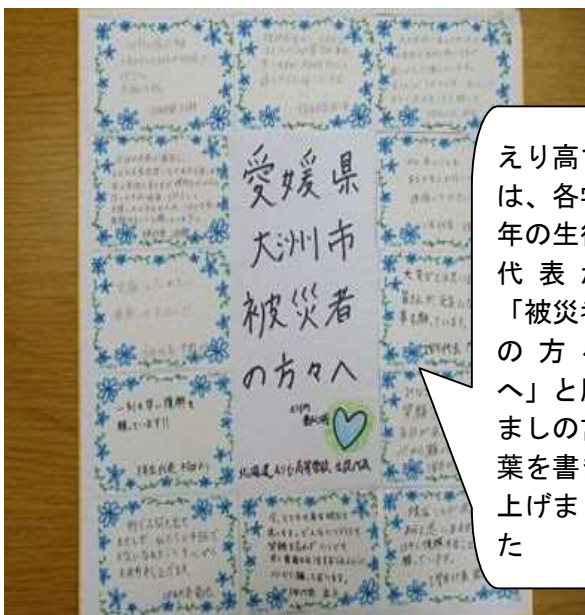
○水害で亡くなった人もいるかもしれませんが、でも、元気をとりもどして下さい。水害は、いつおこるか分からないので、対策を考えて下さい。おうえんしています。（えりも岬小 村田乃望）

えり中では、各学年に分かれて、「がんばろう」と、一人一人が応援メッセージを作りました



—メッセージ—

今回、このような被害にあって、辛かったり、大変だと思います。1日でも早い復興を願っています。大洲市の人達の笑顔が輝きますように～えりも町から応援しています
(えりも中3年 越後七海)



えり高では、各学年の生徒代表が「被災者の方々へ」と励ましの言葉を書き上げました

—メッセージ—

今回の大雨で被災し、とても大変な思いをされたと思います。元の生活に戻るまで時間がかかると思いますが、頑張ってください。応援しかできませんが、1日でも早く復興することを願っています

(えりも高 3年代表 沼館思佳)

○この取組は、9月4日に、教育委員会から大洲市教育委員会へ届けました。

意義ある大洲市への行動

○今回、えりも町内の小・中・高生の全員が災害にあった大洲市の皆さんを応援しようと立ち上がったことは、素晴らしいことです。

○今年から小学校が道徳の時間が「特別な教科道徳」となり、中学校は来年度から教科書で扱います。豊かな人間性の育成のために、一層、心の教育が深まります。

○道徳の時間は、内面を育むものです。大洲市への行動は、「他の人とのかかわり」に関することとして、思いやりや協調性を養うこととなります。そして、メッセージなどの行動は、人のために何かをする、という「道徳的実践」の一つと言えます。

○今日、学校では、なかなか、このような取組をする時間的な余裕がないのが現実です。

○えりも町では、例えば、昆布業への家庭での手伝いは、家族愛を柱にした道徳的実践の最高の生きた教材の一つと言えます。

○どうか、町民の皆様には、このような活動の意義を理解いただき、青少年の健全育成に一層のご支援をお願いします。

感謝 えりも高校通学路草刈り

○夏休み期間に、毎年計画的に行われている野球場横の通学の坂道整備。今年も8月上旬にPTAが草刈り機を持参して、きれいに整備してくれました。

○特に今年は、7月からはバス通生も利用していることから活用が多くなりました。

○教育委員会としては、冬道についても除雪を行い、通りやすくしたいと考えております。

○各地域においても、学校を支援する活動を計画的に進められることを願っております。



学校環境の整備に、PTAの力強い応援隊